

令和3年度 第1回広島市感染症対策協議会

【日 時】 令和3年4月19日（月）19:00～20:00
【場 所】 広島市役所 14 階第7 会議室
【出席者】 小林 正夫、坂口 剛正、大毛 宏喜、石川 暢久、吉岡 宏治、高橋 宏明、
佐藤 貴、新甲 さなえ、堂面 政俊、増田 裕久、長岡 義晴、松原 啓太、
南 心司

1 感染症に関する最近の情報

（1）新型コロナウイルス感染症に係る対応等について（資料1 P1～29）

感染が拡大するおそれがあり、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがあること等から、宮城県、大阪府及び兵庫県の区域は4月5日から、東京都、京都府及び沖縄県の区域は4月12日から、埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県の区域は4月20日から、まん延防止等重点措置の実施区域とされた。まん延防止等重点措置は、特定の地域からのまん延を抑えるための対応であり、緊急事態宣言が、原則都道府県単位であるのに対し、まん延防止等重点措置は、知事が定めた区画や市町村単位となり、事業者への時短要請や住民に知事の定める区域・業態にみだりに出入りしないことの要請を行うこととしている。

本市においては、1週間・人口10万人あたりの新規感染者数が増加に転じており、県の警戒基準値である4人を上回る状況となっている。また、感染者の推定感染経路について、不明の割合が増加している。

新型コロナウイルス変異株について、本市では4月19日までで61例確認された。そのうち44例がゲノム解析済みであり、39例が英国型、5例が解析不能であった。また、4月8日、変異株の患者の退院基準が改正され、通常の新型コロナウイルス感染症患者と同様の対応となった。

本市においては、引き続き、市民に対して感染予防策等の啓発を行うとともに、広島県等と連携して感染拡大防止に向けた取り組みを推進していく。

（委員意見）

- ・ 引き続き、患者の発生動向に留意するとともに、市民等に対して感染予防の啓発に努めてほしい。

（2）新型コロナウイルスワクチン接種について（資料1 P30～35）

新型コロナウイルスワクチンの本格的な接種に向けて、本市では、資料のとおり、目的や接種推進体制等について整理した。

接種対象者は、約119万人に上り、うち約30万人が高齢者に該当する。本市では、高齢者に対する優先的な接種順位を①高齢者施設・障害者施設等への入所者及び医療機関への入院患者、②80歳以上の高齢者、③65歳以上80歳未満の高齢者としている。また、接種体制としては、各医療機関における個別接種と民間商業施設等を活用した集団接種を併用することとしており、ワクチンの供給は、市内に設けたワクチン供給センターで行う予定としている。

被接種者数の増加に伴い、全国的に副反応疑い報告数が増加しており、国によると、4月4日現在、1,755例が報告されており（推定接種者数1,096,698件）、うち350件がアナフィラキシーとして報告されている。また、接種後の死亡例は6件に上っているが、これは米国（510件/28,374,410件＝8.2件/100万件）や英国（283件/約1,300万件＝26.2件/100万件）に比べると少ない。本市

においても、既に被接種者から副反応に係る相談事例が複数寄せられていることから、今後、被害救済が申請されることを想定し、被害調査委員会の開催の準備を進めているところである。

(委員意見)

- ・ 市民や医療機関に混乱が生じぬよう、本格的な接種に向けて、接種体制の整備を進めてほしい。

2 3月の定点把握対象感染症発生状況《公開》(資料2、3)

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

区分	病 名	令和3年3月分	令和3年4月分
		報告日 3/1～4/4	報告日 4/5～4/13 現在
2類	結核	11人 (結核9人、潜在性結核2人)	3人 (結核3人)
4類	E型肝炎		2人 (4/6、4/13)
	A型肝炎	1人 (3/29)	
	重症熱性血小板減少症候群	1人 (3/5)	
	レジオネラ症	2人 (3/7、3/26)	
5類	ウイルス性肝炎	1人 (3/29)	
	急性弛緩性麻痺	1人 (3/16)	
	急性脳炎	1人 (3/3)	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1人 (4/7)
	侵襲性肺炎球菌感染症		1人 (4/9)
	梅毒	6人 (3/1、3/4、3/15、3/19、3/26、3/29)	2人 (4/5、4/6)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2人 (4/5、4/7)
新型インフル	新型コロナウイルス感染症	143人	66人

() は届出日

4 その他《公開》

次回開催予定日 令和3年5月17日（月） 14階第7会議室

【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：3月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症（月報対象）の長期的変動

広島市感染症対策協議会コメント（4月分）

令和3年4月19日

1 患者情報

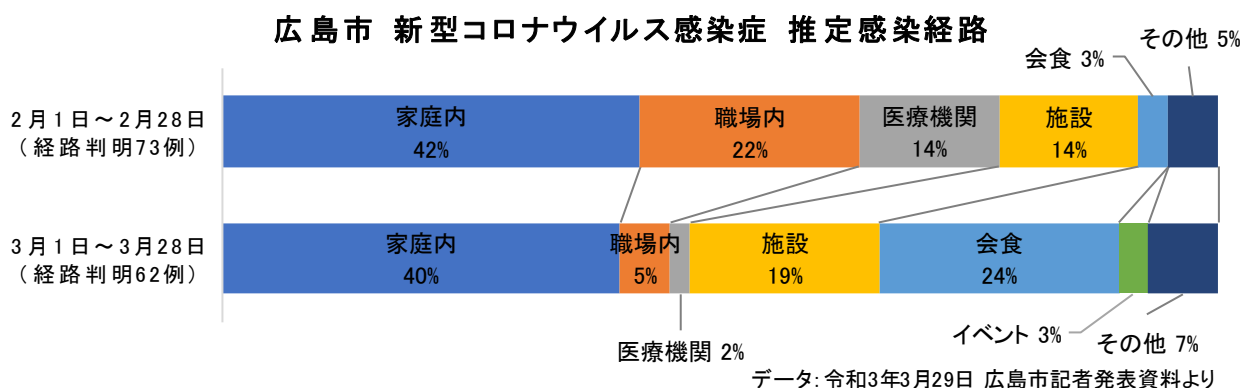
(1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、3月は751人で、前月比1.15とやや増加した。感染性胃腸炎はやや増加、突発性発しんはほぼ横ばい、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや減少した。

(2) 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症は、広島市では3月下旬から新規感染者が増加しており、4月以降の直近1週間の新規感染者数は、広島県警戒基準値（4.0人/10万人）前後で推移している。3月は、介護事業所、高齢者施設及び会食におけるクラスターが発生し、推定感染経路は2月と比較すると、施設、会食及びイベントの割合が増加した。また、感染が多い地域に往来した方からの発生もあった。全国では、3月上旬以降増加が続き、感染が急速に拡大した宮城県ほか複数の区域を対象に、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置を集中的に実施する必要性が発生した旨等公示された。

変異株については、広島市では英国で確認された変異株が検出されており、従来株と比較して感染性や死亡リスク増加の可能性が指摘されていることから、基本的な感染対策を徹底するとともに、感染拡大の予兆を早期に探知し、感染の広がりを抑え込むことが重要である。



- 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者が1件報告された。重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、SFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染する。例年、患者の多くは西日本を中心に、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて発生する。潜伏期間は5日～2週間程度で、発熱、消化器症状が出現し、頭痛、筋肉痛、リンパ節腫脹を示すこともある。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンや帽子の着用、足を完全に覆う靴を履くなど、肌の露出を少なくし、マダニに咬まれないようにすることが重要である。また、ダニが吸着していた場合は、無理に引き抜こうとせず、皮膚科で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらい、数週間程度は発熱等体調の変化に注意する必要がある。

(3) 3月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 11件（患者：9件、潜在性結核：2件）
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：A型肝炎 1件
重症熱性血小板減少症候群 1件
レジオネラ症 2件
- 5類感染症：ウイルス性肝炎 1件
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。） 1件
急性脳炎 1件
梅毒 6件
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 143件

(4) 今後の流行予測

新型コロナウイルス感染症の発生動向に注意が必要である。

2 検査情報

3月の検査結果判明分

臨床診断名	検出病原体	検体採取年月	患者数
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	2021 年 1 月	1 人
感染性胃腸炎	カンピロバクター・ジェジュニ	2021 年 1 月	1 人
	カンピロバクター・ジェジュニ	2021 年 2 月	1 人
手足口病	エンテロウイルス	2020 年 12 月	1 人
流行性角結膜炎	アデノウイルス 37 型	2021 年 2 月	1 人
その他の消化器疾患	アデノウイルス 2 型	2021 年 2 月	1 人
その他の発疹性疾患	単純ヘルペスウイルス 1 型	2021 年 2 月	1 人
その他の疾患	エコーウイルス 18 型	2020 年 12 月	1 人

8 人の患者から 5 種類のウイルス 5 株、2 種類の細菌 3 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、エンテロウイルス、アデノウイルス 2 型、同 37 型、エコーウイルス 18 型、単純ヘルペスウイルス 1 型各 1 株であった。検出細菌の内訳は、カンピロバクター・ジェジュニ 2 株、A 群溶血性レンサ球菌 1 株であった。

5類感染症定点情報
(令和3年3月解析分)

1. 週報対象(第9週～第13週)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測	No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測
1	インフルエンザ		4	0.11		10	流行性耳下腺炎		3	0.12	
2	咽頭結膜熱		24	1.01		11	RSウイルス感染症		7	0.29	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	2.34		12	急性出血性結膜炎		-	-	
4	感染性胃腸炎		566	23.59		13	流行性角結膜炎		9	1.14	
5	水痘		17	0.71		14	細菌性髄膜炎		-	-	
6	手足口病		3	0.13		15	無菌性髄膜炎		-	-	
7	伝染性紅斑		1	0.04		16	マイコプラズマ肺炎		-	-	
8	突発性発しん		36	1.50		17	クラミジア肺炎		-	-	
9	ヘルパンギーナ		4	0.17		18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	

2. 月報対象(3月)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり
1	性器クラミジア感染症		28	3.11
2	性器ヘルペスウイルス感染症		15	1.67
3	尖圭コンジローマ		6	0.67
4	淋菌感染症		18	2.00
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		20	2.86
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1	0.14
7	薬剤耐性緑膿菌感染症		-	-

発生記号

前月と比較しておおむね1:2以上の増減		
前月と比較しておおむね1:1.5～2の増減		
前月と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減		
ほぼ横ばい(発生件数少数のものを含む)		

予測記号

流行始まり	
流行中	
流行終息傾向	
終息	

全数把握感染症報告数(令和3年3月分)

第9週～第13週(3月1日～4月4日)報告分

類型	疾患名	広島市		全国	
		報告数	累積	報告数	累積
一類	1 エボラ出血熱	-	-	-	-
	2 クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-
	3 痘そう	-	-	-	-
	4 南米出血熱	-	-	-	-
	5 ベスト	-	-	-	-
	6 マールブルグ病	-	-	-	-
	7 ラッサ熱	-	-	-	-
二類	8 急性灰白髄炎	-	-	-	-
	9 結核	11	27	1,550	3,662
	10 ジフテリア	-	-	-	-
	11 重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-
	12 中東呼吸器症候群	-	-	-	-
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-
三類	15 コレラ	-	-	-	-
	16 細菌性赤痢	-	-	2	4
	17 腸管出血性大腸菌感染症	-	1	89	213
	18 腸チフス	-	-	-	-
	19 パラチフス	-	-	-	-
四類	20 E型肝炎	-	1	48	146
	21 ウエストナイル熱	-	-	-	-
	22 A型肝炎	1	1	6	20
	23 エキノコックス症	-	-	3	5
	24 黄熱	-	-	-	-
	25 オウム病	-	-	-	1
	26 オムスク出血熱	-	-	-	-
	27 回帰熱	-	-	-	2
	28 キャサヌル森林病	-	-	-	-
	29 Q熱	-	-	-	-
	30 狂犬病	-	-	-	-
	31 コクシジオイデス症	-	-	-	-
	32 サル痘	-	-	-	-
	33 ジカウイルス感染症	-	-	-	-
	34 重症熱性血小板減少症候群	1	1	10	15
	35 腎症候性出血熱	-	-	-	-
	36 西部ウマ脳炎	-	-	-	-
	37 ダニ媒介脳炎	-	-	-	-
	38 炭疽	-	-	-	-
	39 チクングニア熱	-	-	-	-
	40 つつが虫病	-	-	7	64
	41 デング熱	-	-	-	-
	42 東部ウマ脳炎	-	-	-	-
	43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	-	-	-	-
	44 ニバウイルス感染症	-	-	-	-
	45 日本紅斑熱	-	-	10	12
	46 日本脳炎	-	-	-	-
	47 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-
	48 Bウイルス病	-	-	-	-
	49 鼻疽	-	-	-	-
	50 ブルセラ症	-	-	-	-
	51 ペネズエラウマ脳炎	-	-	-	-
	52 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-
	53 発しんチフス	-	-	-	-
	54 ボツリヌス症	-	-	1	1
	55 マラリア	-	-	-	3
	56 野兔病	-	-	-	-
	57 ライム病	-	-	-	4
	58 リッサウイルス感染症	-	-	-	-
	59 リフトバレー熱	-	-	-	-
	60 類鼻疽	-	-	-	-
	61 レジオネラ症	2	6	89	274
	62 レプトスピラ症	-	-	1	2
	63 ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-
五類	64 アメーバ赤痢	-	3	45	134
	65 ウイルス性肝炎	1	2	30	50
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	1	172	414
	67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	1	1	1	5
	68 急性脳炎	1	1	30	81
	69 クリプトスポリジウム症	-	-	-	1
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	14	36
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	54	171
	72 後天性免疫不全症候群	-	2	105	235
	73 ジアルジア症	-	-	4	11
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	19	58
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	-
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	-	-	125	291
	77 水痘(入院例に限る。)	-	-	34	65
	78 先天性風しん症候群	-	-	-	1
	79 梅毒	6	11	665	1,475
	80 播種性クリプトコックス症	-	-	10	31
	81 破傷風	-	-	8	19
	82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-
	83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	13	23
	84 百日咳	-	-	65	154
	85 風しん	-	-	-	5
	86 麻しん	-	-	-	-
	87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-
新型インフル	88 新型コロナウイルス感染症 ※	143	3,413	※ 52,338	※ 482,871

※全国データは、厚生労働省HPから引用(空港検疫及びチャーター便帰国者を除く)。広島市、全国の累積は2020年からの合計。